新糸満市長就任

當銘 真栄

6月7日の糸満市市長選挙におきまして、市民の皆様の温かいご支援を賜りまして、このたび糸満市長に就任しました當銘真栄でございます。市民の皆様には、心より感謝を申し上げます。

初めに、新型コロナウイルスにより、亡くなられた方のご家族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方やご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、感染リスクに直面しながら、私たちの命と暮らしを支えるため、命がけで職責を果たそうと努力を続けている方々に、深く感謝申し上げます。

私は、「今、そして未来の子どもたちに誇れる糸満市づくりに挑戦！」すると、多くの公約を掲げました。公約の実現はもとより、市民の皆様の負託に応え、糸満市づくりに全力投球させていただきます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大により全国に緊急事態宣言が発出され、日本経済は停滞・縮小を余儀なくされました。職を失った市民や廃業の危機にある事業者などから、コロナショックに対する支援策や第2波、第3波への備えを求める声がありました。寄せられた多くの声から、市民の命と暮らし、事業所の継続を下支えする支援策の充実などが、コロナ禍の糸満市政運営で重要であると痛感しています。

私は、選挙期間中、糸満市に求められているのは「市民に寄り添い、心の通った政治」であり、それができるリーダーを決めるのが、今回の選挙だと、強く訴えてきました。

それは、30年近い地域でのボランティア活動や2期6年半の市議会議員活動を通して、「市民に寄り添い、心の通った政治」が私の政治信条となり、地域共生社会(地域をともに創っていく社会)を目指すことが必要だと感じたからです。

そのためには、常に市民の立場で考え、ともに歩む姿勢で市民の総意を反映した行政運営をすることが必要だと考えます。

コロナ対策の声をカタチにする。そして、暮らしているまちに、いつまでも愛着と誇りを持ち続けるためには、人が輝く市民主体のまちづくり、すなわち「市民に寄り添い、心の通った政治」が必要です。

コロナ対策の求めをカタチにするために掲げた公約の実現など「住みよい、住んでよかった」と言える糸満市づくりを着実に進めて参ります。

他にも多くの事業を計画しておりますが、様々な施策を熟慮断行していくことで糸満市の将来は確実に良くなっていくと確信しております。糸満市民、市内事業者ならびに職員の皆様の大きなお力添えをお願い申し上げます。

糸満市の更なる発展のため、市民の皆様の福祉向上のために粉骨砕身努力して参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、市民の皆様へお願いがあります。

私たちは、ウイルスや細菌を完全に排除できていないことから、新型コロナの第2波・第3波を想定しながらウイルスと共生するための新しい生活様式へ移行しなければなりません。

そのためには、手洗い・手指消毒・咳エチケット・喚起の徹底・身体的距離の確保「3密」の回避、体温チェックのほか、多くのことを意識しなければなりません。

ご自身や大切な人の命と暮らしを守るため、互いに支えあい、心を一つにして、この難局をみんなで乗り越えていきましょう。

当選証書を授与された(右)當銘真栄市長(左)高江靖議員

退任のあいさつ　前市長 上原 昭

盛夏の候、糸満市民の皆様におかれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年7月5日をもちまして糸満市長の職を退任しました。1期4年間の在任中は、多くの市民の皆様をはじめ、市議会議員ならびに関係各位の温かいご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、私は1期4年間を改めて振り返ってみますと、「糸満市を元気に活力ある都市」をめざすことを公約に掲げて、実現に取り組んで参りました。改めて振り返ってみますと、就任当時、財政事情がかなり厳しい状況にあることは承知しておりました。そのためには市の税収の確保のための企業誘致の促進やふるさと応援基金の創設と同時に行財政改革の取り組みにも強化を図って参りました。

他にも、長年の懸案事項でありました、仮称糸満市文化・平和・観光振興センターの着工、小中学校16校へのクーラー設置、小中学校一貫教育による特色ある教育や一人一台のパソコン整備にも着手し、本市教育環境の整備に力を入れて参りました。また、福祉団体からの要請が多かった、いとまん平和トリムマラソンの開催、ジョン万次郎記念碑の建立、名城ビーチへの大型ホテルの誘致、神奈川県厚木市との友好都市締結、最近では、念願だった、いとまんまちぐぁーの新築、泊魚市場の糸満移転が実現し、今年度から漁港内の工事が始まります。本市の水産業発展に大きく寄与するものと大変期待しております。

子育て支援にも特に力を入れました。待機児童解消をめざし、各種認定こども園の助成や、小規模保育事業の増加、拠点型こどもの居場所設置など子育て家庭へのきめ細やかな支援を行って参りました。

私は4年間、市長として糸満市の舵取りをさせていただきました。市民の皆様の生活向上のため努力して参りました日々は、充実していた日々だったと実感しております。

結びに、當銘新市長には、公約どおりに市民福祉向上のために頑張っていただくことをお願いするとともに、糸満市の更なる発展と市民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、退任のあいさつと致します。

大変お世話になりました。ありがとうございます。

広報いとまん
Itoman

わたしの夢　DREAMS COME TRUE
No99
夢は見るものじゃなく、かなえるもの

チームで集めた資源ゴミをリサイクルして市に寄附金を贈呈したバレーボールクラブてぃーだ西崎

休校中は家の手伝いやマスク作りをしたり、お家でできるバレーボールの自主練習をしていました。ゲームをしたり絵を描いたりすることも好きだけど、将来の夢はお母さんと同じ県庁職員になりたいです。(理子さん)

新型コロナウイルスのワクチンができていないとテレビで目にするので、将来の夢は研究者になってワクチンの開発をしたいです。(花奈さん)

(左)金城花奈(きんじょう はな)さん　西小5年
(右)大城理子(おおしろ りこ)さん　西小6年

沖縄県糸満市
Itoman City

■人口

	5月	前月比
人口	62,296	+64
男	31,530	+29
女	30,766	+35
世帯数	27,238	+23

■火災・救急

	5月	前年比
火災	0件 (11件)	-2 (-1件)
救急	197件 (1154件)	-60 (-108件)

※(　)内は令和2年の累計

■面積 46.63Km²(2019年7月1日現在)
■市の花木 ブーゲンビレア■市の木 ガジュマル
■市の花 日日草■市の魚 タマン
(人口、世帯数、火災・救急件数は2020年4月末現在)

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書広報課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り(FMたまん)

■月～金
①7時45分～7時50分
②12時55分～13時
③17時55分～18時
■土～日
④12時55分～13時